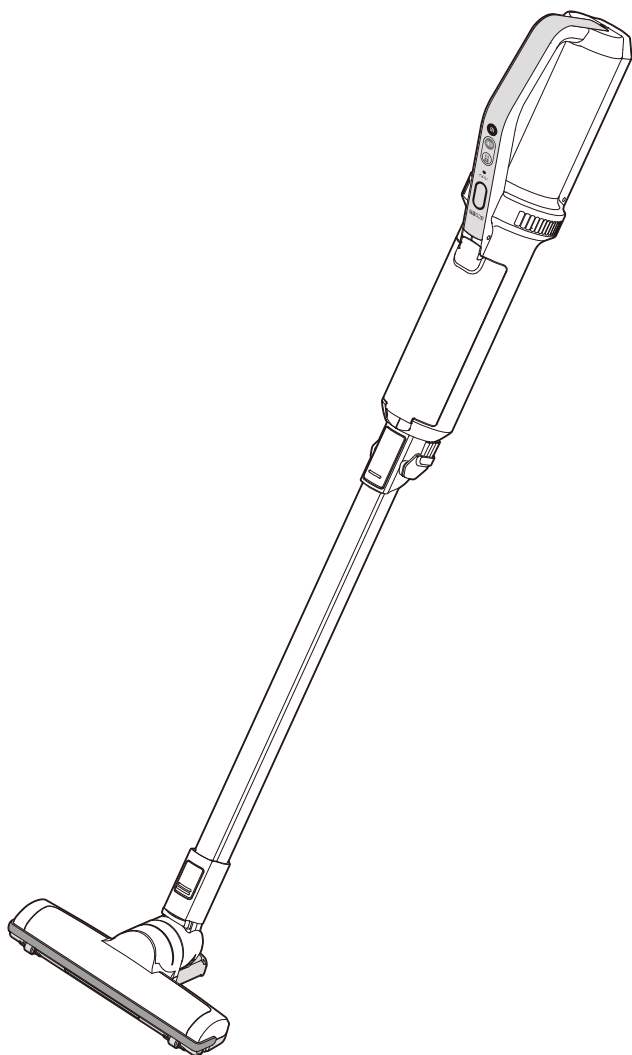


極細軽量スティッククリーナー

IC-SLDC4

取扱説明書



この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用前に

安全上のご注意.....	2
使用上のお願い.....	4
各部の名称.....	5
準備（組み立てる）.....	6
準備（充電する）.....	6
準備（壁に立てかけて収納する場合）.....	7

取り扱いかた




使いかた.....	9
ごみの捨てかた.....	10
お手入れのしかた.....	11
バッテリー交換・廃棄のしかた.....	13

こんなときには

故障かな？と思ったら.....	14
仕様.....	15
保証とアフターサービス.....	15
保証書.....	裏表紙

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、「危険」「警告」「注意」の3つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

 危険	 警告	 注意
誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれ大きい内容を示しています。	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。	誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



記載の行為を禁止します。

絶対に「してはならない」行為です。



記載の行為を強制します。

絶対に「しなければならない」必須行為です。

危険



必ず実施

- 異臭や発熱、その他異常に気づいたら、使用を中止する
継続して使用すると、発熱・破裂・発火の原因になります。アイリスコールにお問い合わせください。
- バッテリーから液もれした液が目に入った時は、直ちに医師の治療を受ける
こすらずに水道水などのきれいな水で充分洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。放置すると、目に障害を与える原因になります。
- 電解液が液もれしていたり、異臭がしていたら、直ちに火気より遠ざける
ビニール袋に入れ、アイリスコールまでご連絡ください。電解液に引火し、破裂・発火の原因になります。また電解液に触れてしまった場合には、すぐにきれいな水で十分洗い流してください。皮膚のかぶれの原因になります。



絶対禁止

- 熱源や火気の近く、高温になる場所、直射日光のあたる場所では充電しない
ストーブやコンロのそば、ファンヒーターの吹き出し口の前、炎天下の自動車の車内、窓際などでの放置・保管・充電は、故障・液もれ・発熱・破裂・発火の原因になります。また、充電は室温が5℃以上35℃以下の所で行ってください。使用時間が短くなったり、充電時間が長くなったりすることがあります。

バッテリーについて



絶対禁止

- 高所から落下させたり、投げつけたり、釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりするなど、強い衝撃を加えない
発熱、破裂、発火の原因になります。
- 電磁調理器の上や近くに置いたり、電子レンジや高圧容器の中に入れたりしない
発熱・破裂・発火の原因になります。
- 火中に投入したり、ホットプレートなどで加熱したりしない
発熱・破裂・発火の原因になります。
- 水・ジュース・洗剤・海水など、液体で濡らしたりしない
感電・発熱・破裂・発火の原因になります。
※水没した場合は、ゴム手袋を着用するなど、必ず感電を防止して取り出し、アイリスコールまでご連絡ください。
- 弊社純正ではない機器や、取扱説明書に記載されていない方法、器具・充電アダプターでは充電しない
コンセントや、自動車のアクセサリソケットなどに直接、あるいは、弊社純正品でない充電器を介して接続しても、充電できず、発熱・破裂・発火の原因になります。

警告



必ず実施

- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、スイッチを切る
感電、発煙、発火のおそれがあります。お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

〔異常の例〕

- こげくさいニオイがする
- 充電アダプター・充電コード・プラグが異常に熱くなる
- 充電コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 運転中ときどき止まる
- 運転中、異常な音がする
- 触れるとビリビリ電気を感じる
- 液もれしている



必ず実施

- 充電アダプターは、交流100Vで使用するエンジン発電機などでは使用しないでください。火災・感電の原因になります。
- 充電アダプターの刃および刃の取付面にホコリが付いているときは、乾いた布でよく拭き取る
湿気などで絶縁が低下し、発火・感電の原因になります。
- 充電アダプターはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる発火・感電の原因になります。



水ぬれ禁止

- 水まわり、風呂場など湿気のある場所では絶対に使用しない
ショートによる発火・感電の原因になります。
- 本体を水につけたり、水をかけたりしない
感電・故障の原因になります。



分解禁止

- 絶対に分解・改造・修理をしない
バッテリーの液もれ・発熱・破壊のおそれがあります。



絶対禁止

- 充電アダプター・充電コード・プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる発火・感電の原因になります。
- ぬれた手で充電アダプターの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。
- 充電コードを傷つけない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものをのせる、挟み込むなどしない。充電コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 灯油・ガソリン・シンナーなどの引火性のあるもの、火の気のあるもの、トナーなどの可燃性のものを吸わせたり、そばで使わない
火災の原因になります。
- ペースメーカーやICDをお使いの方は、マグネット部（本体裏面の突起、P.5参照）を植え込み部に近づけない
磁気が動作に影響します。

⚠ 注意



絶対禁止

- 火気に近づけない
本体・充電アダプターのコードなどが変形、ショートし、発火の原因になります。排気で炎が大きくなり、火災の原因になります。
- 吸込口をふさいで長時間運転しない
- 排気口をふさがない
過熱による本体の変形・故障・発火の原因になります。
- 破れたり、破損したフィルターは使わない
故障・性能低下の原因になります。
- 本体にはのらない
- 本体を振り回さない
- 子どもに遊ばせない
- 幼児の手の届く所に置かない
けがや本体の破損の原因になります。



必ず実施

- 持ち上げるときは、必ず本体のハンドルを持つ
本体が落下して、けがや床に傷がつく原因になります。
- 使い捨てダストパックとスポンジフィルターを必ず取り付けて使用する
故障の原因になります。
- ダストパックセットが確実に取り付けられた状態で使用する
けがや本体破損の原因になります。



絶対禁止

- 温度が50℃を超える可能性のある場所（炎天下の車内、直射日光が当たる場所、暖房器具のそばなど）で使用したり、保管したりしない
本体が変形したり、発火の原因になります。
- 可燃物を上にのせたり、覆ったり、熱がこもるような状態で使用（放電）したり充電したりしない
発熱、破裂、発火させるおそれがあります。
- 本体を引きずらない
床面を傷つける原因になります。
- プラグや充電アダプターを抜くときは、充電コードを引っ張らない
充電コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。
- フィルターの詰まりや、バッテリーが劣化して吸引力が弱まった状態で使用しない
ごみが詰まる原因になります。
- 使用時間が極端に短くなった場合は使用しない
バッテリーには寿命があります。機器の使用時間が短くなったときは、新しいバッテリーに交換する必要があります。継続して使用すると、発熱・破裂・発火の原因になります。修理専用コールにご相談ください。
- マグネット部に、磁気カードや携帯電話、補聴器など精密機器を近づけない

使用上のお願い

- この掃除機は室内用です。屋外では使わないでください。
- 本製品は家庭用掃除機です。業務用には使用しないでください。
- 清掃以外には使用しないでください。
- 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。
液体・湿ったごみ・粉末状のもの・ガラス・針など尖ったもの・大量の砂
- 多量のごみ・大きなごみ・ビニール類は集中して吸わせないでください。吸引力の低下やパイプの詰まりの原因になります。
- フロアヘッド・ブラシを床・壁・家具などに強く押し付けたり、本体を柱・壁・家具などにぶつけないでください。傷がついたり破損する原因になります。
- フィルターは専用のものを正しく取り付けてください。
- パックホルダーは消耗品ではありません。破損・紛失した場合は修理専用コールにご相談ください。

お願い

本製品には、リチウムイオン二次電池を使用しています。

ご使用に際しては、けがや事故を防止するため、本取扱説明書の「安全上のご注意」をよくお読みになり、ご理解の上ご利用ください。

バッテリーの廃棄について

ご使用済みのバッテリーは一般家庭ごみとして捨てないで、最寄りの「リサイクル協力店」にご持参いただくか、アイリスコールにお問い合わせください。

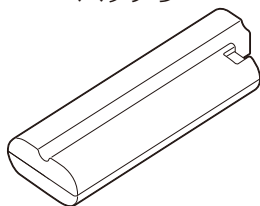
捨てられたバッテリーがごみ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になるおそれがあります。



Li-ion電池は
リサイクルへ

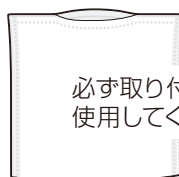
消耗部品について

バッテリー



別売品 掃除機用バッテリー
CBL1115

使い捨てダストパック



別売品 使い捨てダストパック
FDPAG1414

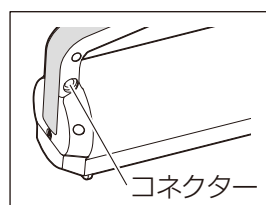
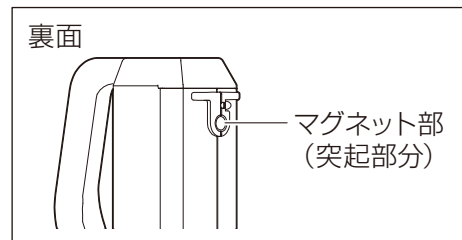
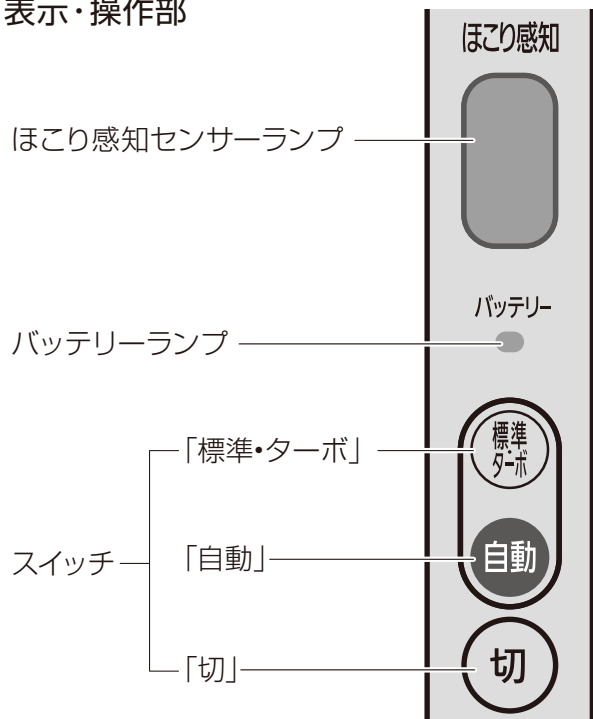
スポンジフィルター



修理専用コールに
ご相談ください。

各部の名称

表示・操作部



バッテリー収納部

ハンドル

本体

排気口

ダストパックカバー

ダストパック
セット



取り外しボタン

ブラシ
本体パイプ

スポンジフィルター

使い捨てダストパック
※付属品使用

パックホルダー

延長パイプ

付属品

予備接着シート

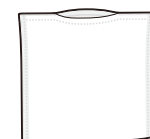
壁置きパーツ

ねじ×2

※立てかけて収納するときに使います。

取り外しボタン

フロアヘッド



使い捨て
ダストパック
×25

※1つは本体に
セット済みです。

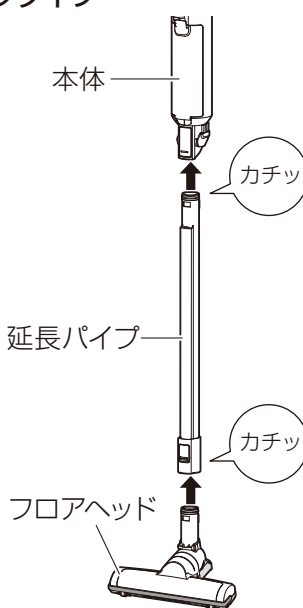
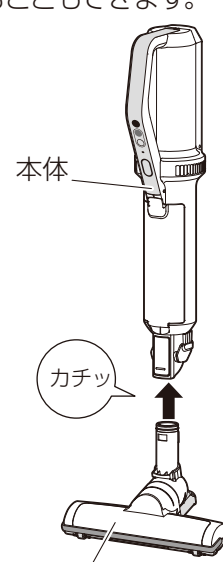
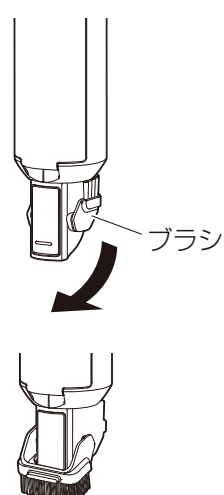
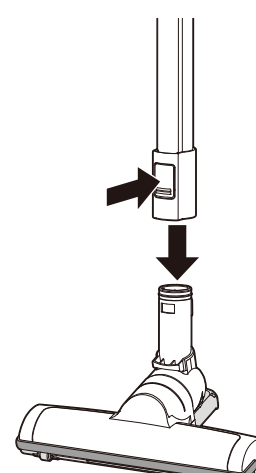
プラグ

充電コード

充電アダプター

準備（組み立てる）

1 組み立てる

スティックタイプ	ハンディタイプ	ブラシタイプ	取り外し方
 <p>①本体に延長パイプをカチッと音がるまで差し込みます。 ②延長パイプにフロアヘッドをカチッと音がるまで差し込みます。</p>	 <p>延長パイプを使わずに、本体パイプにフロアヘッドを直接差し込むこともできます。</p>	 <p>本体パイプの先端部分を回転させて、ブラシを出すことができます。</p>	 <p>フロアヘッド、延長パイプを取り外す際は、取り外しボタンを押しながら引き抜いてください。</p>

※組み立てたあとや収納するときは、倒れないように横に寝かせて置いてください。

準備（充電する）



注意

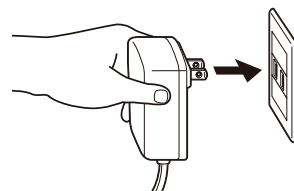
- 電池は購入時点では十分に充電されていません。ご使用前に必ず充電してからご使用ください。
- 充電が完了するまでは約3時間です。ご使用状態、環境温度により充電時間が長くなることがあります。
- 充電しながらの使用は、ご遠慮ください。

1 充電アダプターをコンセントに差し込む



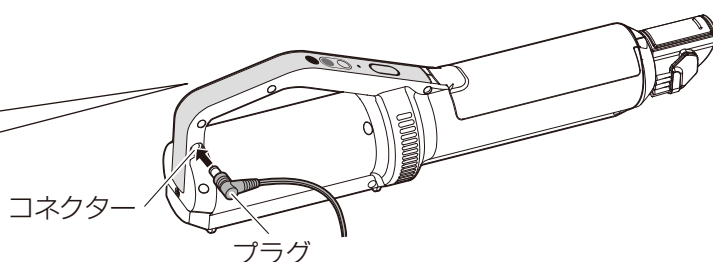
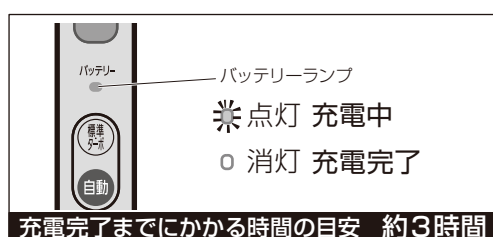
注意

- 充電アダプターは奥まで確実に差し込んでください。



2 本体のコネクターに充電アダプターのプラグを差し込み、充電する

バッテリーランプが赤色に点灯し、充電を開始します。
充電が完了すると消灯します。



お願い

- 初めてお使いのときは、必ず1回は満充電になるまで充電してからご使用ください。
※満充電とは本体のコネクターに充電アダプターのプラグを差し込み、バッテリーランプが赤色に点灯した後、消灯した状態のことです。
- 長期間（10日以上）充電せずに放置したときは、必ず充電してからご使用ください。
- 繰り返しご使用になると使用時間は徐々に短くなります。
- 充電時間・使用時間は、バッテリー温度やご使用の状態により変わります。
- 室温が5℃以上35℃以下の所で充電してください。室温が低い場合や直射日光があたるなど高温の所では正常に充電されません。使用時間が短くなったり、充電時間が長くなることがあります。
- 充電中に本体上部や充電アダプター付近が温かくなりますが異常ではありません。

準備（壁に立てかけて収納する場合）

本体裏面にはマグネットが内蔵されていますので、鉄板の付いた壁置きパーツを使用することで、壁などに立てかけることができます。



注意

- 万一に備え、倒れた場合に人や他の物に被害を及ぼすような場所には使用しないでください。

1

壁置きパーツを固定する

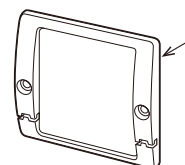
A. 接着シート使用の場合

- ① 接着シートを貼る面についたほこりや油、水分をきれいに拭き取ってください。（このとき化学雑巾は使用しないでください。）
- ② 壁置きパーツ、コードリールの裏面のはくり紙をはがして貼り付け、十分に圧着してください。接着シートの本来の接着力が得られるまで24時間かかります。それまでは大きな力をかけないでください。

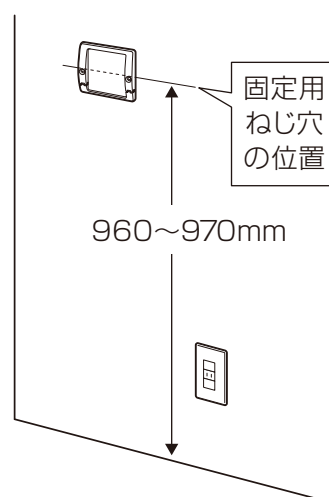
接着（使用）できない素材と場所	
材質	ポリプロピレン、ポリエチレン、軟質ゴム
場所	紙壁、砂壁、繊維壁、はがれやすい塗装面、フッ素・シリコン等で処理された面 凹凸の激しい面、常に高温・多湿になる場所、水分がしみこみやすい面、屋外、壁紙のジョイント部分や周辺

壁置きパーツ

接着シート
（裏面）



取り付けの高さ



注意

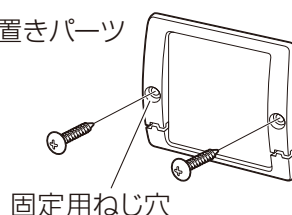
- 低温では貼りつきにくいので、室温10℃以上の時に作業してください。
- 壁紙やプリント合板の表面状況・状態によっては、貼りつけ面を傷めたり変色する場合があります。
- 壁紙の種類によってははがれやすいのでねじ止めしてください。ただし、この場合は壁に穴があきます。
- 場所を移動させる場合、接着シートは再利用できませんので、予備の接着シートか市販の接着シート（ニトムズ製はがせる両面接着シートT3973）をご利用ください。

※接着シートのはがし方は、P.13 を参照してください。

B. ねじ止めの場合

接着シートが使用できない場合は、壁置きパーツの裏面のはくり紙をはがさず、ねじ止めしてください。固定用の穴に図のようにねじを通し、壁などに固定してください。

壁置きパーツ

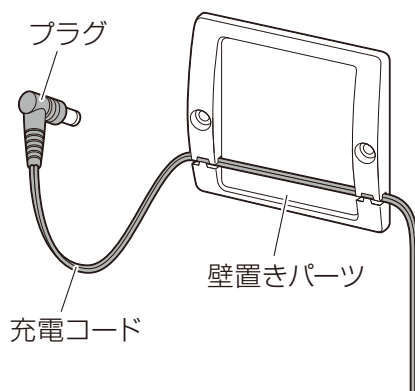


つづく →

2 充電コードを固定する

壁置きパーツの溝に充電コードを通します。

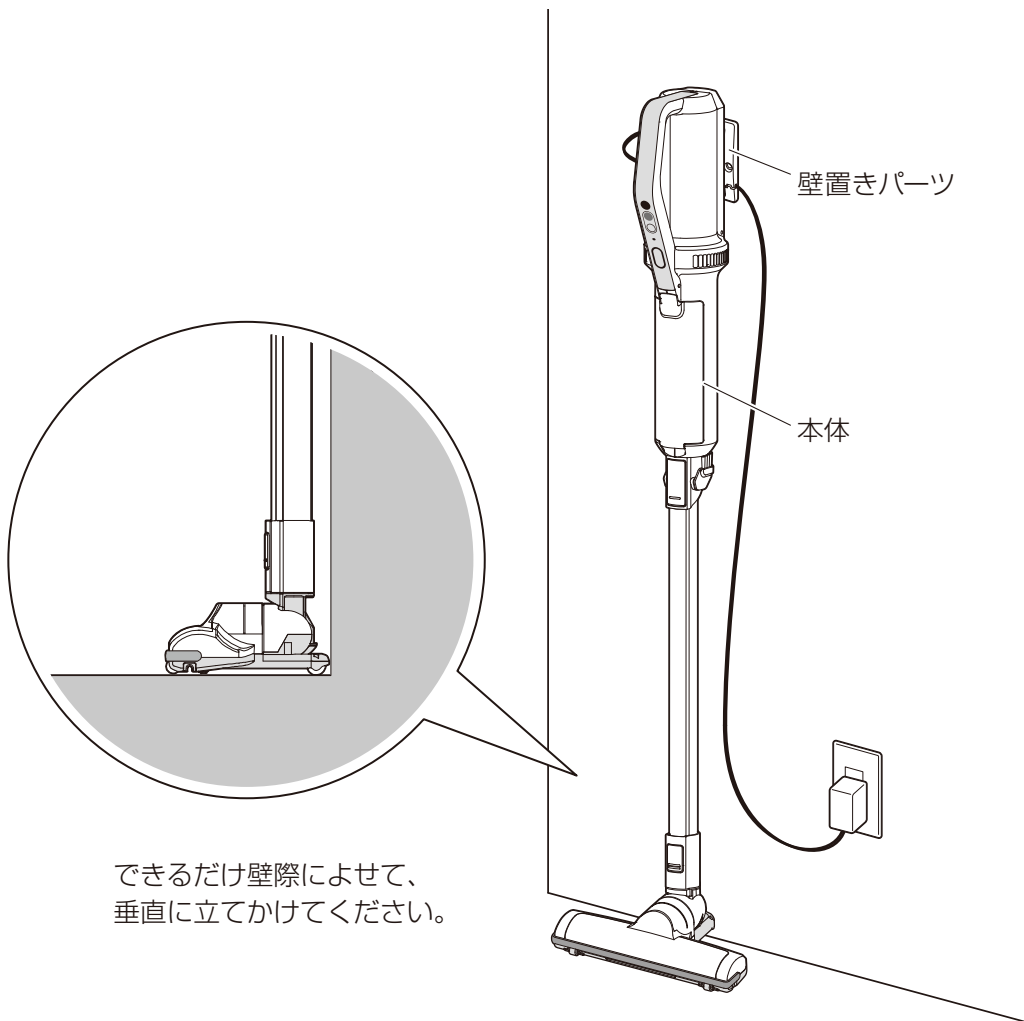
コンセントから近い場合、充電コードの長さが余る場合は、コードリールに巻きつけて整理します。



注意

●充電コードは溝に無理に通さないでください。充電コードが傷つくと、発火の原因になります。

3 壁置きパーツに本体を垂直に立てかける



注意

●壁置きパーツ以外では立てかけないでください。倒れる場合があります。
●必ず垂直に立てかけてください。ななめに立てかけると倒れる場合があります。

使いかた

1 掃除を開始する

本体ハンドルをしっかりと持ちます。

①自動モード運転（スティック状態）

ハンドル部分の操作スイッチ「自動」を押します。

- ごみが多いときは、**ほこり感知センサーランプ**が赤く点灯し、出力を強くして運転します。
- ごみが少ないときは、**ほこり感知センサーランプ**は緑に点灯し、出力をおさえて運転します。

※スティックタイプ（延長パイプを装着した状態）でご使用ください。ハンディタイプまたはブラスタイプでは、外からの光がセンサーに入り込むため、誤動作しやすくなります。

※じゅうたん、寝具などで使用した場合、遊び毛や、内部にたまったハウスダストを感知する頻度が高くなり、出力を強くして運転し続ける場合があります。

②標準モード／ターボモード運転

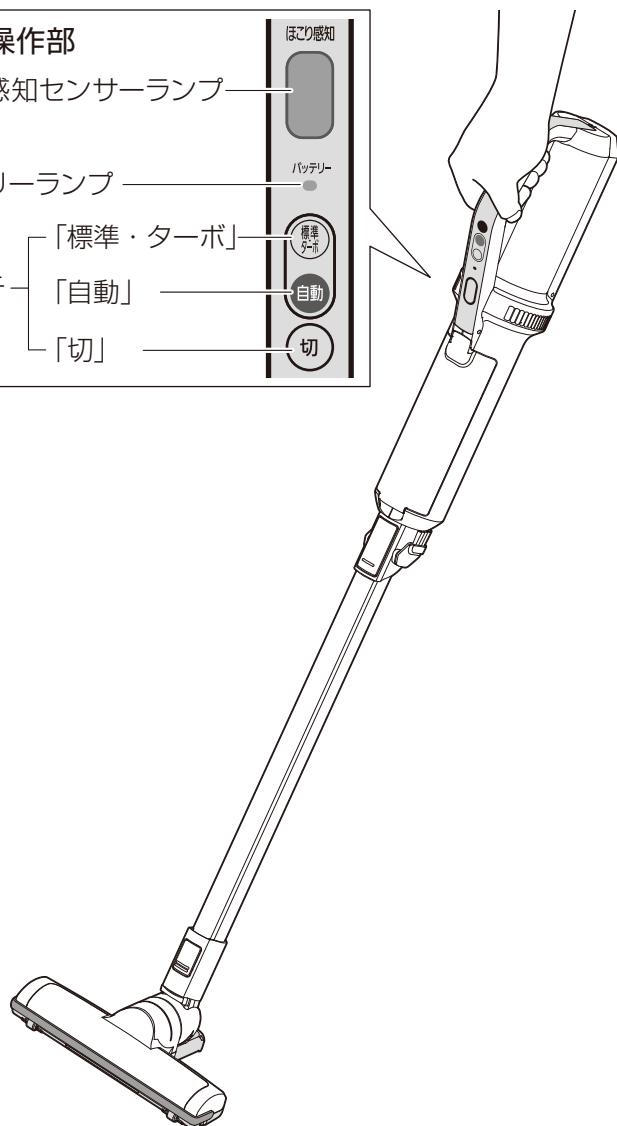
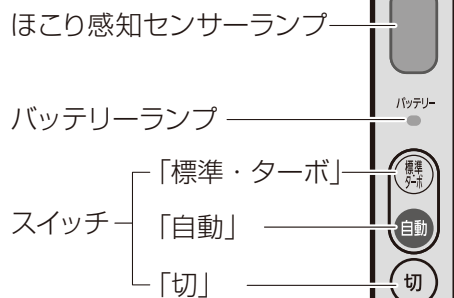
ハンドル部分の操作スイッチ「標準・ターボ」を押します。

標準モードで運転を開始します。もう1回押すとターボモードに変わります。

※押す毎に、標準モードとターボモードが切り替わります。

- ほこり感知センサーランプ**は、モードにかかわらず、赤あるいは緑に点灯します。

表示・操作部



2 掃除を終了する

運転を停止するときは、ハンドル部分の操作スイッチ「切」を押してください。運転が停止します。

- バッテリー残量が少なくなると、**バッテリーランプ**が赤くゆっくり点滅してお知らせします。
- バッテリー残量がなくなると、モーターが停止し、**バッテリーランプ**が赤く速く点滅します。（しばらくすると消灯します）その場合は本体を充電してください。

バッテリーランプ

	ゆっくり点滅 電池残量少ない
	速く点滅（しばらくすると消灯） 電池残量ゼロ

⚠ 注意

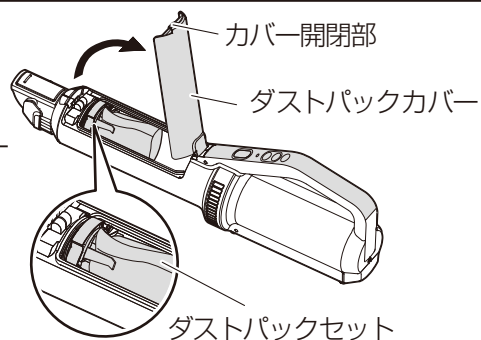
- 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。
■液体 ■湿ったごみ ■粉末状のもの ■ガラス ■針など尖ったもの ■大量の砂
- 多量のごみ・大きなごみ・ビニール類は集中して吸わせないでください。吸込力の低下やパイプの詰まりの原因になります。
- フロアヘッド・ブラシを床・壁・家具などに強く押し付けしないでください。また本体を無理に引っ張ったり、柱・壁・家具などにぶつけないでください。傷がついたり破損する原因になります。
- 吸い込んだごみは、こまめに捨ててください。ごみを溜め過ぎると、ごみの詰まりや落下、ほこり感知センサーの誤動作や故障の原因になります。

ごみの捨てかた

※ごみはこまめに捨ててください。

1 ダストパックカバーを開ける

カバー開閉部に指をかけ持ち上げます。



2 ダストパックセットを取り外す

ダストパックセットを取り外します。

※ごみが落ちることがありますので、ごみ箱の上で作業してください。

3 ごみを捨てる

使い捨てダストパックの角をつまんで、パックホルダーから外し、そのままゴミ箱へ捨てます。

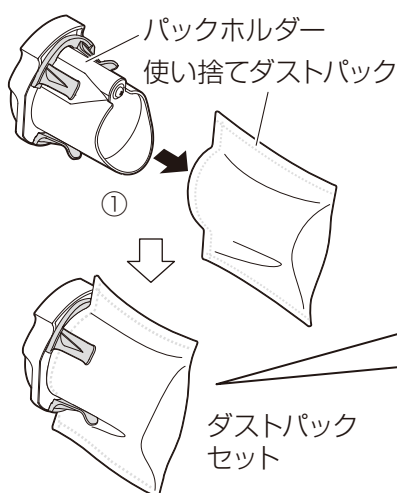
※パックホルダーは捨てないでください。



4 ダストパックセットを組み立てる

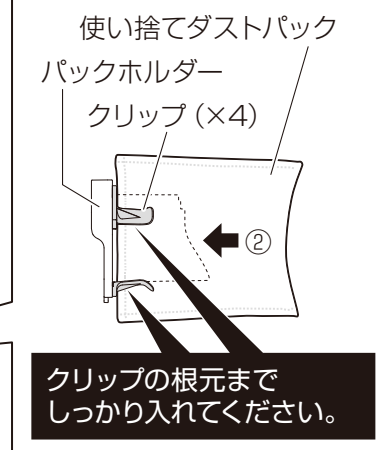
①使い捨てダストパックにパックホルダーの先端を差し込みます。

②4か所のクリップで、使い捨てダストパックをはさみ込むようにクリップの根元までしっかり入れ、外れないように固定してください。



⚠注意

- 使い捨てダストパックは、必ず使用してください。モーターの故障の原因になります。
- クリップは無理に広げないでください。破損します。

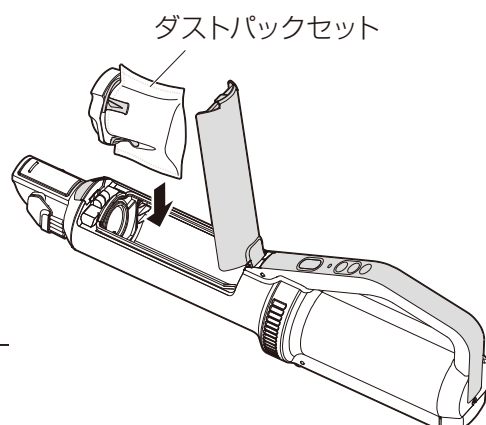


5 ダストパックセットを本体に取り付ける

逆の手順で、ダストパックセットを本体にしっかり差し込んでください。

⚠注意

- パックホルダーを本体にセットしないとダストパックカバーは閉まりません。
- 使い捨てダストパックが図のように「縦」になっていることを確認してください。他の向きですと、ほこりが漏れることがあります。



6 ダストパックカバーを閉じる

カバー開閉部を押し、カチッと音がするまで閉めてください。

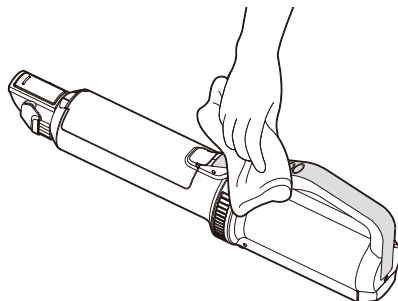
お手入れのしかた

⚠ 注意

- 本体に水をかけないでください。感電・故障の原因になります。
- 洗剤を使用する場合は、中性洗剤をうすめて使用してください。
- 揮発性のあるものは使わないでください。ベンジン、シンナー、アルコールなどを使用すると、変色・変形・変質・破損し故障の原因になります。

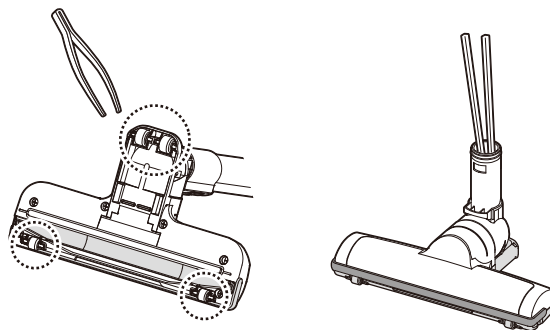
■ 本体、延長パイプ

固くしぼったぬれふきんで拭いてください。
中性洗剤を使用した後は、十分に拭き取ってください。



■ フロアヘッド

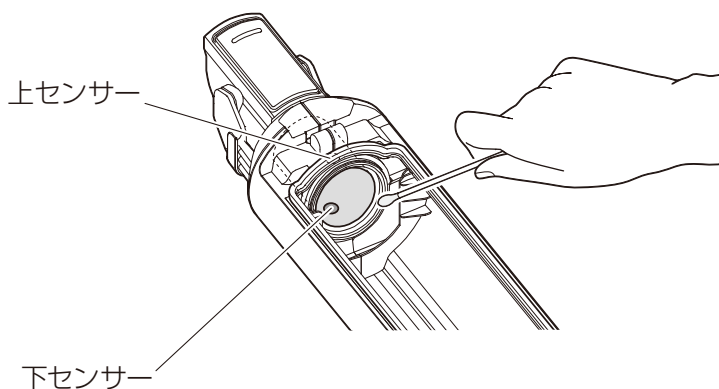
フロアヘッド 底面の ○ 部からみついた毛・糸くずはピンセットなどで取り除いてください。パイプにつまったごみは、わりばしなどで取り除いてください。表面は、布に水または薄めた中性洗剤を含ませ、十分にしぼってから拭いてください。



■ ほこり感知センサー

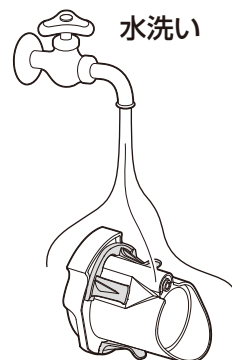
本体内の上センサーと下センサーを綿棒などで清掃してください。

※ 定期的に掃除してください。ごみが付着していると誤動作の原因となります。



■ パックホルダー

パックホルダーが汚れた場合は、水洗いして、よく乾燥させてください。

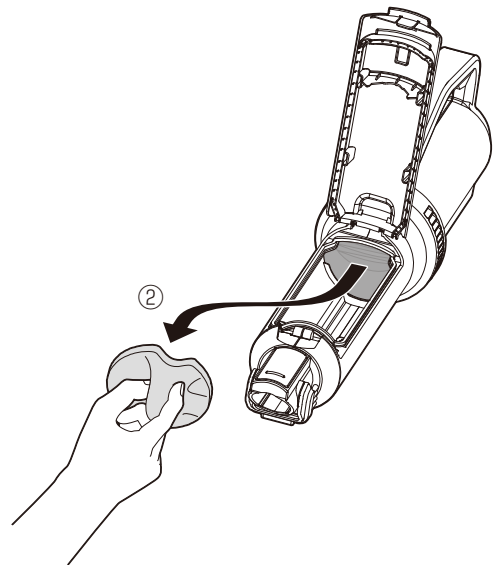


お手入れのしかた つづき

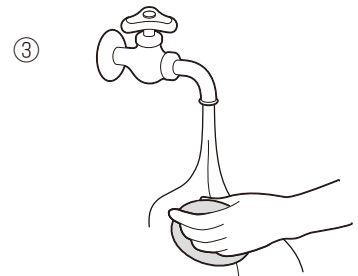
■ スポンジフィルター

①P10「ごみの捨てかた」を参照して、ダストパックセットを取り外します。

②ダストパックセット収納部の奥に見えるスポンジフィルターをつまんで抜き出します。

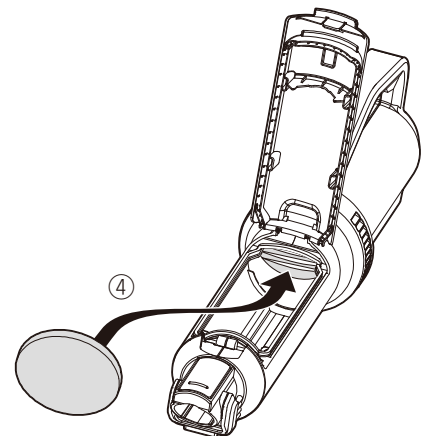


③スポンジフィルターをはたくか水洗いしてください。



④スポンジフィルターを取り付けます。ダストパックセット収納部奥の壁の内側に、スポンジフィルターの端をドライバーの先端など細いもので全周押し込みます。

⑤ごみの捨て方5、6を参照して、ダストパックセットを取り付けます。



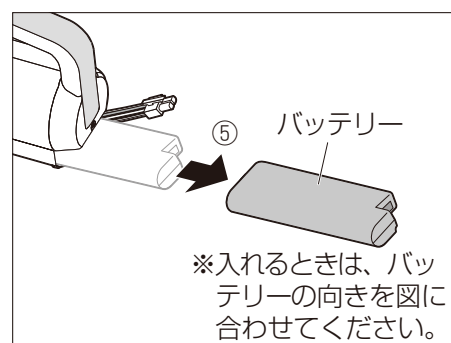
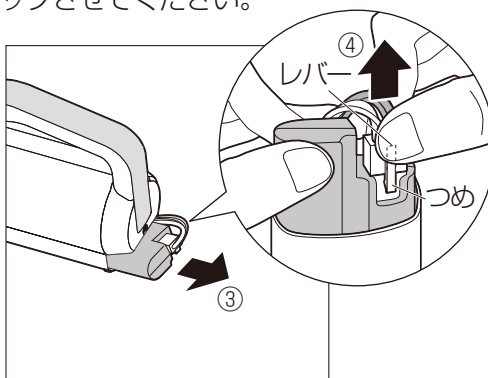
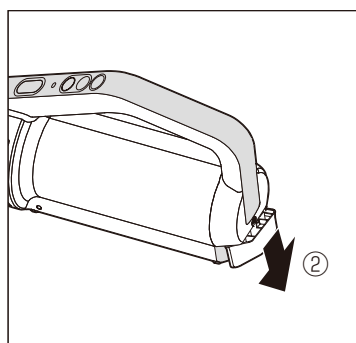
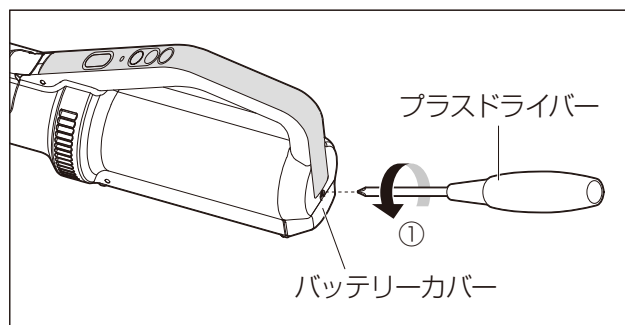
⚠ 注意

- 水洗いをした場合には、スポンジフィルターを十分に乾燥させてから装着してください。
- お手入れした後は、必ずスポンジフィルターを装着してください。モーターの故障の原因になります。

バッテリー交換・廃棄のしかた

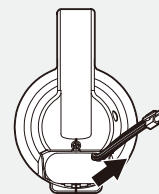
■ バッテリー交換のしかた

- ① バッテリーカバーのねじを外します。
 - ② バッテリーカバーをスライドさせて外します。
 - ③ バッテリーを少し引き出します。
 - ④ コードがつながっているコネクターを取り外します。
コネクターのレバーを押さえながら、バッテリーから抜き取ります。
 - ⑤ バッテリーを抜き取ります。
 - ⑥ 新しいバッテリーを本体に差し込み、逆の手順で組み立てます。
- ※このとき、バッテリーをしっかりとおさえてコネクターを差し込み、つめを確実にロックさせてください。



⚠ 注意

- バッテリーを抜き差しするときは、コードをはさまないように、右上に寄せて、バッテリーを抜き差ししてください。
- コードが破損すると、感電・発火などの原因になります。

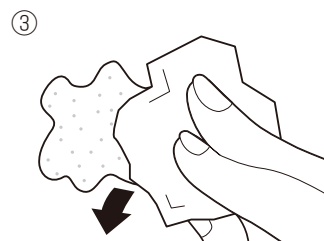
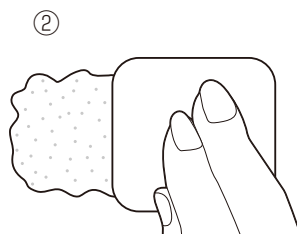
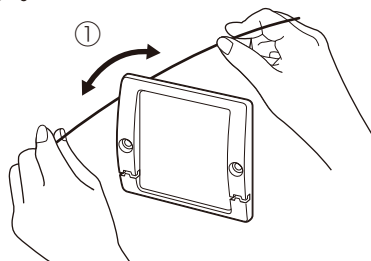


■ 廃棄のしかた

- 本体はバッテリーを取り外し、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。
- バッテリーは、一般家庭ごみとして捨てないで、最寄りの「リサイクル協力店」にご持参いただくか、アイリスコールにお問い合わせください。

■ 接着シートのはがしかた

- ① 壁置きパーツと壁のすきまに、ご家庭にある手芸糸などを入れ、左右に動かしながらシートを引き裂いてください。
※このとき、シート基材が残ります。
- ② ティッシュペーパー（またはタオル）を水に浸し、軽く絞ってから壁紙に残ったシート全体を覆うように約10秒くらい押さえつけてください。
- ③ シートからティッシュペーパー（またはタオル）を離し、乾いたティッシュペーパー（またはタオル）で軽くふき取ってください。



故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
運転しない	● バッテリーが消耗している	● 充電してください。
吸引力が弱い	● バッテリー残量が少ない	● 充電してください。
	● 使い捨てダストパックがいっぱいになっている	● ダストパックを交換してください。
	● スポンジフィルターが目詰りしている	● スポンジフィルターのお手入れをしてください。(P12)
	● 延長パイプ、本体パイプにごみが詰まっている	● 詰まっているごみを取り除いてください。
充電されない	● 充電アダプターがコンセントに差し込まれていない	● 充電アダプターをコンセントに差し込んでください。
	● バッテリーが熱くなっている	● 運転を停止させ、涼しいところで冷却させてからご使用ください。
	● 本体にプラグが差し込まれていない	● プラグをしっかりと差し込んでください。
バッテリーランプ（赤）が消えない	● 充電時間は周囲温度・使用時間などの諸条件により、充電時間が長くなることがあります（最長4時間）。4時間以上充電してもバッテリーランプが消えない場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。	
充電しても 運転時間が短い	● 室内の温度が低すぎる場所や、高すぎる場所で充電した	● 5℃以上、35℃以下の直射日光の当たらない室内で充電してください。
	● バッテリーが寿命に達している	● バッテリー交換が必要です。アイリスコールにお問い合わせください。
ごみを吸っていないのにほこり感知センサーが反応する ごみを吸ってもほこり感知センサーが反応しない	● センサー部に汚れが付着している	● センサー部のお手入れをしてください。(P11)
	● 吸引力が極端に落ちている	● ごみを捨て、フィルターの交換をして、本体パイプや延長パイプに詰まったごみを取り除いてください。
	● 延長パイプを外した(ハンディタイプ、ブラスタイプ)状態で使用している	● 外からの光がセンサーに入り込むため、誤動作しやすくなります。延長パイプを装着した(スティック)状態でご使用ください。
ほこり感知センサーランプが消えない (自動モード運転中、パワーが弱くならない)	● じゅうたん、ラグ、布団、毛布などで使用している	● 遊び毛や、内部にたまったハウスダストを感知するため、センサーが働く頻度が高くなり、連続して出力が強い運転になる場合があります。
充電中、本体や充電アダプターが温かい	● 充電電流が流れているため製品温度が上がりますが、異常ではありません。	
使用中、本体が温かい	● バッテリーやモーターの発熱により温かくなりますが、異常ではありません。	

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

ご自分での分解・修理・改造はしないでください。

仕様

セ ッ ト 内 容	本体、充電アダプター、延長パイプ、フロアヘッド (1個)、壁置きパーツ、使い捨てダストパック (25枚)、予備接着シート (1枚)、ねじ (2本)
-----------	---

外 形 寸 法	本体のみ	幅 96mm × 奥行 485mm × 高さ 144mm
	延長パイプ、フロアヘッド装着時	幅 236mm × 奥行 162mm × 高さ 1003mm
質 量	約1.2kg (本体、延長パイプ、フロアヘッド組み立て時) 約0.9kg (本体のみ)	
使用温度範囲	0 ~ 40℃	
使 用 時 間	標準モード：約20分、ターボモード：約9分、自動モード：約30分※ (満充電・バッテリー初期 / 20℃時) ※平均使用時間。使用環境により異なります。	
集 じ ん 容 積	0.3 L	
コ ー ド 長 さ	2.5m	
使用 バッテリー	リチウムイオン二次電池	
バッテリー容量	1,500mAh	
バッテリー寿命	約500回 (充電回数)	
定 格 電 圧	DC10.8V	
充 電 電 源 (充電アダプター)	入力：AC100V 50/60Hz 15VA	
	出力：DC13.7V 0.5A	
充 電 時 間	約3時間 (25℃環境下)	

※この製品は日本国内用に設計されています。電源電圧や周波数の異なる外国ではご使用になれません。またアフターサービスも対象外となります。FOR USE IN JAPAN ONLY.
※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。保証書がないと、保証期間中でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

■保証期間

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、5年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

極細軽量スティッククリーナー

IC-SLDC4

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※ 年 月 日		保証期間 お買い上げ日より：1年間 ただし、消耗品を除く	
お客様	お名前		※販売店 住所・店名 電話（ ） -
	ご住所 〒		
	電話（ ） -		

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは

アイリスコール (通話料無料)

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは

修理専用コール (通話料無料)

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通話料無料)

0800-888-2600

Web からのお問い合わせは

<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

メールフォームにご記入のうえ送信してください